

別記様式第 2 号

会議の概要報告

会議の名称	佐野市子ども・子育て会議
1 開催日時	令和 7 年 1 月 17 日（金） 10 時 00 分～12 時 00 分
2 開催場所	佐野市役所会議室 201
3 委員等の人数	2 1 人
4 出席委員等の人数	1 2 人
5 議題	① 佐野市こども計画（案）について ② 令和 7 年度 私立保育園の認定こども園への移行について
6 会議の公開・ 非公開の区分	☐ 公開 ☒ 一部公開 ☐ 非公開 一部公開・非公開の理由
7 傍聴者の数	0 人
8 会議資料の名称	【資料 1】佐野市こども計画（案） 【資料 2】令和 7 年度から令和 11 年度までのこども・子育て支援施策の量の見込みと確保方策
9 会議の概要 （発言の要旨）	① 佐野市こども計画（案）について説明。 （意見） ① 高校生の自由意見が素晴らしいなと思った。書かなくてもアンケートとしては完了するものの中で、様々なことを考えて書いてくれた意見の中には、大人としてもハッとするものが多くあり、この高校生たちに U ターンして子育てをしている自分の声を届けたいと思った。 ② 佐野市の駅の周りに自習室がなくて、栃木市は、喫茶店があってそこで勉強していたが、佐野にはない。アンケートにもそういった意見があったので、必要なのではないのかと思った。小学生も意見をたくさん書いて、学校に足りてないものが多くあるなと思った。こどもたちに余裕のある環境で学習させてあげられる体制

が必要だと感じた。療育の勉強会を受講したが、様々な立場の方と共有する必要があると感じた。

③ アンケート結果で結婚について記載があるが、若い人を見ているとインターネットに依存していると感じている。AI の発展によって心地よい回答だけを選ぶようになると、人のつながりがなくなる。小さいころから人と関わる経験を意図的に作り出していく必要があると思う。様々な体験活動を提供して欲しい。

④ 絵にかいたモチにならないように、誰かが、行政がやってくれるだろうではなくて、みんなが協力して取組を進めていく必要がある。概要版について、イラストを増やして市民の方に知っていただくと周知が進むと思う。小さい子ども達もけんかや仲直りで人間関係を育んでいる。幼児教育・保育の質を上げていく必要がある。質について記載してもらったので、取り組んでいきたい。幼児教育・保育と学校教育が繋がっていくと、子どもたちのためになっていくと思うので、実際に実施していくことが子どもたちの権利の保障に繋がってくる。

⑤ こどもまんなか社会というところを目指すということで、いよいよそういう時代になったかと嬉しく思う。乳幼児教育は社会の基礎になるとの話もある。育ちの 100 か月ビジョンの大切さも併せて大切にしていける必要がある。保育の「質」について、漠然としかわかっていない。質についてさらに深掘りできるような取組を進めていきたい。

⑥ アンケート結果を共有する場があると良い。保護者も含めてみるができるような場があると良い。

(回答)

小中学校にはフィードバック予定。それが紙なのか配信なのかは今の段階ではわからないため、調整をする。また、こども用の概要版は別途作成予定である。

⑦ 周知について、こども計画という名前だと、若者は見ない可能性がある。若者の声も含まれているということ

	も併せて周知していくと良い。 ⑧ 現場の職員の意見、声を聴いてもらえると良い。 議事②令和 7 年度 私立保育園の認定こども園への移行について（非公開） ※移行する認定こども園の代表者がそれぞれ委員となっているため、非公開で対応。なお、質疑応答、承認の際にはそれぞれ離席にて対応。
10 その他	